

研究課題名	大阪公立大学におけるMRI-TRUS 融合標的生検の有用性の検討
研究の意義・目的	MRIとTRUS(transrectal ultrasonography: 経直腸エコー)を融合させたMRI-TRUS 融合標的生検が行われるようになり癌検出率の向上が報告されています。当院における前立線癌疑いの方に対して前立腺生検を施行した方の癌検出率や合併症などを検討かつ従来法と比較しMRI-TRUS 融合標的生検の有用性を明らかにすることを目的とします。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2026年3月31日
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2021年4月1日～2025年3月31日の間に大阪公立大学医学部附属病院の泌尿器科で、前立腺癌を疑うと診断され、前立腺生検を施行された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 <ul style="list-style-type: none">・患者基本情報：年齢、性別、診療情報・検査結果：血液検査、画像検査(CT、MRI、腹部エコー)・前立腺生検情報：検査日、検査方法、検査情報(検査時間、合併症など)・治療経過・病理組織診断結果・検査後合併症
試料・情報を利用す る者の範囲	この研究は大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報の管理に ついて責任を有する 者の研究機関の名称	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 (担当者氏名) 行松 直 電話番号：(06) 6645-3857 メールアドレス： gr-med-urology@omu.au.jp